令和8年(2026)11月19日

保護者の皆様へ

札幌市立札幌中学校
校長　田中　健児

「全国学力・学習状況調査」結果「概要」について

寒冷の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動につきまして、ご理解とご協力をいただき感謝申しあげます。

さて、令和8年4月17日(木)に、第3学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」に係る本校の結果についての概要がまとまりましたので、お知らせいたします。

「上回っている」とは、全国平均に比べ、＋3.1 ポイント以上
「ほぼ同程度」とは、全国平均に比べ、±3 ポイントの範囲内
「下回っている」とは、全国平均に比べ、－3.1 ポイント以下

【中学校　国語】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向性
【領域】		
「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ♦全国平均とほぼ同程度であるがやや下回っている。	□表現の効果を文脈と結びつけて言語化すること。	□言葉の使い方による印象の変化を比較・検討させることで、語感を磨き語彙を豊かにする活動を充実させる。
「話すこと・聞くこと」 ♦全国平均より下回っている。	□他者の意見を正しく聞き取り、自分の考えを付け加えたり整理すること。	□互いの意見を整理・発展させる状況を設け、自分の考えを話す活動を充実させる。
「書くこと」 ♦全国平均より下回っている。	□考えを伝えるために書き表し方を工夫すること。	□文章構成表やワークシートにより、根拠や構成を整理する活動を充実させる。
「読むこと」 ♦全国平均より、ほぼ同程度であるがやや上回っている。	□記述の根拠を文章中から正確に捉えること。	□「なぜそう考えたのか」「本文のどこに書いてあるか」という考えと根拠を区別して捉える活動を充実させる。

【中学校　数学】

「上回っている」とは、全国平均に比べ、＋3.1 ポイント以上
「ほぼ同程度」とは、全国平均に比べ、±3 ポイントの範囲内
「下回っている」とは、全国平均に比べ、－3.1 ポイント以下

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向性
【領域】 「数と式」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	□問題場面における考察の対象を明確に捉えているかどうか。 統合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明すること。	□問題文から分かっていることや求めることを整理し、図や表、式などに表して考える活動を充実させる。 既習事項を関連付けたり、条件を変えて考えたりする問題に取り組み、統合的・発展的に考える力を高める。
「図形」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	□筋道を立てて考え証明すること。 具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見いだすこと。	□図や具体的な事象を観察し、そこから分かることや成り立ちそうな関係を見付ける活動を大切にし、既習の定理や性質を根拠として、結論に至るまでの過程を順序立てて説明する学習を充実させていく。
「関数」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	□与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ること。 数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。	□縦軸と横軸が何を表しているかを十分に確認したのち大まかな規則性を確認するところから取り組ませ、理解を深めさせる。
「データの活用」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	□データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明すること。	□類似問題での演習を通して、度数分布表と箱ひげ図、度数分布多角形の相互関係について、理解を深めさせる。

【中学校英語】

	課題	改善の方向
中学校　英語	●「聞くこと」については、平均正答数が全国の値と変わらない。さらに英語を聞ける課題を設定する。	○リスニングについては、音読が重要であるので、これからも毎時間英語を発音する機会を増やすことを考える。
	●「読むこと・書くこと」については、全国、全道よりも下回っている。高校受験で一番重要な部分の値が低く、今後何らかの対策が必要である。	○基礎学力を身に着けさせることが大切であると考える。授業の中で、1、2年生の復習を取り入れる。また、生徒に、受験生としての自覚をもたせ、受験勉強の時間をより多くなるように促していく。
	●「話すこと」は全国値よりも低いが、その指導については、受験勉強のことを考えると、どうしても後回しになってしまっている。	○4技能を習得させるのが目的であるから、短い時間でもコミュニケーションやプレゼンテーション能力を養っていかなければならないと考える。

【生徒質問調査】

［全国と比較して、肯定的な回答の多いもの］

質問番号	質問事項
2･3	毎日、同じくらいの時間に寝ていますか、起きていますか。
13	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。
15	学校に行くのは楽しいと思いますか。
20	あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか。
51	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。

○子どもたちが安心して学校生活を送り、自分の思いや考えを表現しながら、互いに認め合い、学び合う姿がうかがえます。今後も、一人一人が安心して過ごし、自分らしさを発揮できる学校づくりを大切にしていきます。

○道徳の授業では、教材に登場する人物の気持ちや行動について考えるだけでなく、「自分だったらどうするか」「なぜそう考えるのか」など、自分自身の生活や経験と結び付けながら考えを深めています。また、学級やグループで意見を交流する中で、自分とは異なる考えに触れ、新たな気付きや考え方を広げています。こうした学びを通して、互いの意見を尊重しながら、多様な考えを認め合う姿が育っていると思います。

［全国と比較して、肯定的な回答の少ないもの］

質問番号	質問事項
10	将来の夢や目標を持っていますか。
11	人が困っているときは、進んで助けていますか。
14	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
22	分からないことや詳しく知りたいことがあったとき、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。
23	学校の授業以外に、普段(月曜日から金曜日)、1 日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用していて学ぶ時間も含む) ⑤30分より少ない、⑥全くしない
27 28	昼休みや放課後に、本を読んだり借りたりするために、学校図書館や地域の図書館にどれくらい行きますか。 ⑤ほとんど行かない、⑥全く行かない
33	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

○学校では、日々の学習やさまざまな体験活動を通して、子どもたちが自分のよさや可能性に気付き、将来への夢や目標をもてるよう支援していきます。また、友達や地域の方々との関わりを大切にし、誰かの役に立つ喜びや、自分の行動が社会につながることを実感できる機会を増やしていきたいと考えています。

○家庭での学習時間については、「30 分より少ない」「全くしない」と回答した生徒が多く、授業以外で学習する習慣が十分に身に付いていない様子がうかがえました。学習内容の定着や、自ら学ぶ力を育てるためには、学校での学習だけでなく、家庭でも継続して学習に取り組むことが大切です。まずは、毎日決まった時間に机に向かうことから始め、短い時間でも家庭学習を続ける習慣を身に付けてほしいと思います。学校でも、家庭学習の内容や方法について声をかけ、自ら進んで学習に取り組む姿勢を育てていきたいと思います。

【総括と今後の課題】

今年度もペアやグループ活動、実験などの学習形態や札幌中大運動会、学校祭などの学校行事を行うことができました。様々な場面で生徒同士がコミュニケーションを取ることは、教育的な意義が多く、学年に応じた心身の成長につながっていると改めて感じます。さらに5月、10月と公開授業を行い、多くの保護者のみなさまに足を運んでいただき、子どもたちの学校の様子を見ていただくことができたと思います。また、キャリア学習では今年度も地域と連携し、事業所での職場体験や SDGs に関する取組も行うことができました。

あくまでも、今回の結果は教育活動の中の一部であります。この結果を参考に今後も生徒一人一人の学習を支援すること、生徒のよさを伸ばすこと、課題を解決するために苦手なことやできないことを克服する手立てを一緒に考え、より楽しい学校生活を通し、社会に出るために必要な知識・技能、思考・判断・表現、粘り強く学習に取り組む姿勢を育んでいきたいと考えています。今後も本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和8年度「学校評価　保護者アンケート」ご協力のお願い

本校の教育活動の改善に向けて保護者の皆様にアンケートを実施しております。今年度も一人一台端末機の Chromebook の活用により、紙資源の節約を考えております。そのため、明日11月20 日(金)に生徒に Chromebook を持ち帰らせますので、Form のアンケートにご協力お願いいたします。11月24 日(火)までにご回答をお願いいたします。お忙しい中だとは存じますが、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

アンケートの回答方法
・学習支援のお子さんの学年のクラスルームに入って下さい。
（例　1学年クラスルーム）

＊ご兄弟・ご姉妹のいらっしゃるご家庭についても学年ごとの集計を行いますので、ご面倒をおかけいたしますがご回答ください。